

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化財課長 丹羽野裕 電話番号 0852-22-6468

事務事業の名称	古墳の丘古曾志公園事業	
目的	(1) 対象	県民及び県外からの来訪者
	(2) 意図	古墳などの史跡にふれあう憩いの場所を提供する。
事業概要	古代の文化遺産の保存と活用を図り、県民の古代文化についての理解と認識を深める。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			事故発生件数	目標値		0.00	0.00	0.00	0.00
	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00				
	達成率		0.00	0.00	0.00			%	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00				%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	5,051	6,142
うち一般財源(千円)	5,026	6,115

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- コスト削減のため、教育機能を持った公園としての位置付けを平成19年度から変更して一般の公園として開放している。
- 指定管理者の努力により園内は良好な状態に保たれているが、建築物・構造物・備品共に老朽化が進行している。
- H26、4月にアンケート調査を実施したところ、楽器練習、ウォーキングなどの施設利用者があるが、「施設が古い」など意見があった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 適切な維持管理により、良好な環境が保たれており、公園内での事故は発生していない。
- 指定管理者によるイベント開催や周辺自治会、幼稚園、小学校への広報活動により、利用促進を図っている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 建築物や構造物の劣化や機器の故障等、全般的に老朽化が進行

②困っている状況が発生している「原因」

- 開園後20余年を経過
- 経費的な問題で抜本的な修繕が困難

③原因を解消するための「課題」

- 定期的な園内の見回りや施設の保守点検
- 老朽化した個別施設・機器ごとに、費用対効果をふまえ今後の対応を検討

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 利用者の安全確保を最優先とし、施設の適切な維持管理に努める。
- 費用対効果の観点から、良好な利用環境を確保するための設備の修繕に努め、事故を誘発するおそれのある設備、不要な投資を招く可能性のある設備の撤去について検討する。
- 埋蔵文化センター等の協力を得て、各種イベントの開催や学校等への広報活動を積極的に行い、利用促進を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）